

【研究課題】

東京都における新型コロナウイルス感染症（COVID-19） 関連異状死の実態調査

研究期間：2020年11月2日～2023年3月31日

東京都特別区では市中での感染者の増加とともに COVID-19 陽性の検案例が増加した。死因については肺炎、心筋炎の他喉頭気管支炎等多様であり、COVID-19 とは関連のない死因も多数認められた。新興感染症発生に際して死因究明施設は感染症に対する検査体制、感染防御のための資材の確保及び正確な死因究明のための解剖体制を迅速に進めていく必要がある。ワクチン接種後の突然死例の調査では少数ながら副反応疑い例が認められた。死亡とワクチンとの因果関係の判断には剖検の実施は必須であり、当該例の剖検を実施する体制も整える必要がある。